

上智大学キリスト教文化研究所活動報告

(2009年度 報告)

1. 講演会活動

①第37回連続講演会

テーマ：「東アジアのキリスト教」

日時：2009年6月6日、7日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・講師、個別テーマ

6月6日(土)

牧野 元紀 (国立公文書館アジア歴史資料センター・調査員)

「ベトナム前近代史のなかのカトリック」

岡本 さえ (東京大学名誉教授)

「中国人はイエズス会をどうみたか」

片山 はるひ (上智大学教授)

「遠藤周作の文学におけるキリスト教の「東と西」」

6月7日(日)

高山 貞美 (上智大学准教授)

「日本人の霊性とキリスト教」

田中 裕 (上智大学教授)

「復生の文学—詩人 東條耿一とキリスト教」

②2009年度聖書講座

テーマ：「史的イエス研究の射程と限界 (ラッツィンガー『ナザレのイエス』をめぐって)」

日時：2009年11月21日、22日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・講師、個別テーマ

11月21日(土)

増田 祐志 (上智大学准教授)

「キリスト論から見た現代的意味」

川中 仁 (上智大学講師)

「史的イエスと信仰のキリスト」

佐藤 研 (立教大学教授)

「真に神、真に人」

11月22日(日)

里野泰昭 (元 千葉大学教授 臨床心理教育研究所 ポコ・ア・ポコ副代表)

「史的イエスとホモウーシオス」

岩島 忠彦（上智大学教授）

「教義神学から見た史的イエスの研究史」

2. 出版活動

聖書論文集：『パウロの現代性—義認・義化の教師としてのパウロ—』

2009年11月13日出版社リトン発行

紀 要：「上智大学キリスト教文化研究所紀要 28号」

2010年3月10日発行

3. 学内共同研究

- ・2008年4月より学内共同研究を行うことになった。

期 間：2008年4月～2010年3月

テーマ：儒教文化圏におけるキリスト教受容

研究員：大橋 洋一郎、片山 はるひ、高山 貞美、宮本 久雄、光延 一郎、具 正謨、増田 祐志、
竹内 修一、佐久間 勤（計9名）

[以上]